

Japanese Utility Model Publication No. 53-16507

Publication Date: May 1, 1978

Laid-Open Publication No. 51-113714

Laid-Open Date: September 14, 1976

Japanese Utility Model Application No. 50-32084

Filing Date : March 10, 1975

Inventor: Yuriko Kiyonari

Applicant: Yuriko Kiyonari

Easily Closable Bag for Article

An easily closable bag 3 for an article of the present design has a flexible wire 1 attached to the upper part thereof in an inverted V letter shape as a clamping member, with which the opening of the bag 3 can be closed easily.

実用新案公報

昭53-16507

⑪Int. Cl.²

識別記号

⑫日本分類

庁内整理番号

⑬公告

昭和53年(1978)5月1日

B 65 D 33 / 30

132 B 315

7418 - 38

(全 2 頁)

1

2

⑭袋口が簡単に封じられる物品袋

⑮実 願 昭50-32084

⑯出 願 昭50(1975)3月10日

公 開 昭51-113714

⑰昭51(1976)9月14日

⑱考 案 者 出願人に同じ

⑲出 願 人 清成ユリコ

東京都板橋区舟渡町4の15の1

(出願人において、権利譲渡または実施許諾の
用意がある)

⑳実用新案登録請求の範囲

図面に示すように、V字型とした可燃性の針金
(または帯金) 1 を逆V字型に、袋 3 の袋首部に
固着させて、袋口を簡単に封じることができる締
付用具とした物品袋。

考案の詳細な説明

本考案は、物品袋の袋口を封ずるための締付用
具の改良工夫に関するものである。従来の袋類に
物品を入れて、その袋口を封ずるには、糊が紐か
ゴムバンドのいずれかをを用いる以外には方法がな
く、これは案外に手間がかかり、わずらわしくめ
んどうなことであった。

本考案は、これらの欠点を完全に除去するため
になされたもので、これを図面の実施例について
説明すると、V字型とした可燃性の針金(または
帯金) 1 を、粘着性のテープ 2 などで、袋 3 の袋
首部に逆V字型に固着させて、袋口の締付用具と
したものである。いま、この袋 3 に物品を入れて
その袋口を封じるには二つの方法がある。第一の
封じ方は、袋口の上部両端をそれぞれ針金 1 を固
着させた反対面の方向に、第 2 図のごとく折り込

み、次に、第 3 図のように A-A' を結ぶ線を同
じく折り込めば、針金(または帯金) 1 の材質上
袋口は完全に封じられる。第二の封じ方は、第 4
図のごとく袋口全体を針金 1 の個所に絞り寄せて
逆V字型の中にはさみ込み、全体を右まわしに 1
, 2 回ねじれば、同じく針金(または帯金) 1 の
材質上、第 5 図のごとく、その袋首はおのずから
ラセン状に締付けられる結果となる。

実験の植果では、これらを手荒く放り投げても
袋口は絶対に開くことがなく、反対に、入れたも
のを袋内から取り出すには、封ずる手順とは逆に
すれば袋口は手軽に開くことができる。しかも、
この出し入れはくりかえし何回でもできる。従つ
て本考案の物品袋を菓子袋、食品袋、飼料袋、肥
料袋、セメント袋等に用いれば、食べ残しや使用
残しがあつた場合など、大変に便利である。また
これらの袋類が全く不要な空袋となつたものは、
同じ効用のあるゴミ捨て袋として再活用できる利
点もある。

㉑図面の簡単な説明

第 1 図は本考案の物品袋の正面姿図、第 2 図は
袋口の両端を折り込んだ姿図、第 3 図は袋口を折
り込んだ姿図、第 4 図は袋口を逆V字型の中にし
ほり込んだ姿図、第 5 図は袋口をねじり込んだ袋
の斜視図。

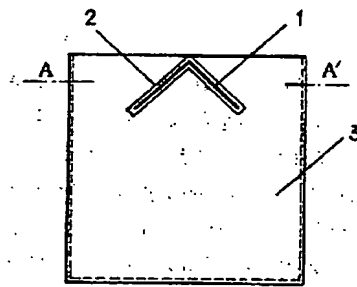
図面符号 1 は可燃性の針金(または帯金)、2
は粘着性のテープ、3 は袋の本体。

㉒引用文献

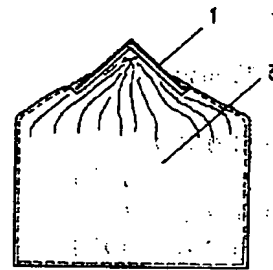
実 開 昭50-24521

登録実用新案 30994

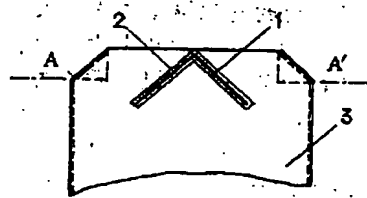
第1図



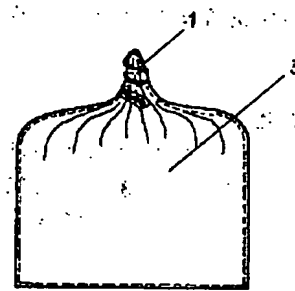
第4図



第2図



第5図



第3図

